

サステナビリティマネジメント

サステナビリティに対する考え方

近年、国連における「持続可能な開発目標 (SDGs)」の採択、「パリ協定」の発効、ESG投資の拡大など、持続可能な環境・社会・経済の実現への関心が高まり、それらに関する企業の取り組みが一層重要視されています。

特に、自動車業界ではコネクテッド、自動運転をはじめとする新技術やカーシェアリングに代表される新しいビジネスモデルなど、100年に1度の大変革期を迎えています。

また、環境面では世界的に気候変動・エネルギー問題が深刻化しています。三菱自動車は製品や事業活動からの温室効果ガス低減をはじめ、責任ある事業運営に取り組み、各国・各地域における事業活動を通じて社会課題の解決を図ることにより、社会の持続可能な発展に貢献していきます。



サステナビリティ推進体制

当社では、執行役CEOを委員長とするサステナビリティ委員会にて、マテリアリティに対応する取り組みの目標設定とその進捗確認を行うことにより、PDCAを回しています。三菱自動車グループ全体でサステナビリティを推進し、重要事項は取締役会で審議・報告する体制としています。

2019年4月、社内外とのコミュニケーション強化を目的にサステナビリティ推進部を新設し、サステナビリティ委員会メンバーをはじめとする役員・従業員、ならびにステークホルダーとのコミュニケーションを強化しながら、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に取り組んでいます。



2019年度のサステナビリティ委員会の実績

- ・開催回数：3回
- ・主な審議事項
 - マテリアリティ 2018年度の取り組みレビューおよび2019年度の取り組み計画、三菱自動車人権方針、サステナビリティレポート2019の編集方針、新環境計画パッケージなど
- ・委員会メンバー(2020年4月時点)

- 委員長： 執行役CEO
- 副委員長： 総務・コミュニケーション、サステナビリティ担当執行役員
- 委員： 代表執行役Co-CEO兼 開発担当
代表執行役Co-CEO兼 アセアン・オセアニア担当兼
グローバルセールスデベロップメント本部長
コーポレートガバナンス担当上席執行役員
生産担当上席執行役員
経営戦略室長
TCS(※)本部長
商品戦略本部長
人事本部長
財務経理統括室長
モビリティビジネス本部長
調達管理本部長
管理本部長
生産技術本部長
グローバルアフターセールス本部長
国内営業本部長
開発マネジメント本部長
広報部長
IR室長

オブザーバー：取締役(監査委員)

※TCS：Total Customer Satisfaction (トータルカスタマーサティスファクション)

サステナビリティの社内浸透

三菱自動車は、役員・従業員がサステナビリティについて理解を深め、日々の業務を通じてサステナビリティの取り組みを実践できるよう、1年を通して浸透活動を行っています。浸透度は社員意識調査で確認し、調査結果は次年度の活動に生かしています。

<活動事例>

- ・ サステナビリティ全般に関するeラーニング
8,724名受講
- ・ サステナビリティ全般に関する階層別研修
833名受講
(新入社員、中途入社社員、新任M2社員<課長級>、
M1社員<部長級>)
- ・ サステナビリティに関する月間ニュースレター



階層別研修 (M1社員<部長級>)

「国連グローバル・コンパクト」への参加

当社は、2019年5月、国連が提唱する「人権・労働・環境・腐敗防止」についての普遍的原則である「国連グローバル・コンパクト」への支持を表明しました。「国連グローバル・コンパクト」は、国連のコフィー・アナン事務総長(当時)が1999年に世界経済フォーラム(ダボス会議)で提唱した、企業による自主行動原則です。

当社は、「国連グローバル・コンパクト」の10原則にもとづき、これからも社会の持続可能な成長の実現に向け活動を続けていきます。



外部団体への参画

- 一般社団法人日本経済団体連合会
- 一般社団法人日本自動車工業会
- 公益社団法人自動車技術会
- 一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ)

支持または参考にしている外部イニシアティブ

- 国連持続可能な開発目標 (SDGs)
- 国連グローバル・コンパクト (UNG)
- ILO 中核的労働基準
- OECD 多国籍企業行動指針
- ISO26000 「社会的責任の手引」
- 日本経団連 「企業行動憲章」